

## 手荷役からパレット利用への切り替えで実現する働き方改革

～パレット利用時の時間削減率は約75%～

日本パレットレンタル株式会社(代表取締役社長:加納尚美、本社:東京都千代田区、以下JPR)は、パレットを出荷に利用した際の労働生産性の向上効果を算出しました。

### 記

#### ■算出にあたり

少子高齢化社会における人口減少により年々働き手の減少が続いており、「人手不足」への対策として、生産性を高めることが求められております。

パレット出荷と手積み手卸しで運用した場合の生産性について定量的な評価を実施することで、パレット出荷における労働生産性の向上効果について考察いたしました。

労働生産性とは労働者1人あたり、あるいは労働1時間あたりでどれだけの成果を生み出したかを示すものです。

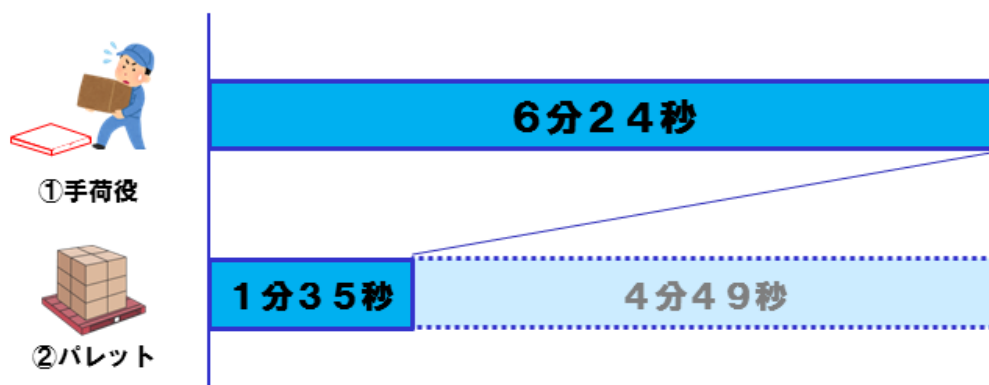
#### ■評価方法

公益財団法人日本生産性本部監修のもと、パレット1枚当たりの出荷・入荷(納品)時間と、手積み手卸し時でパレット1枚相当分の商品出荷・入荷(納品)時間を比較検証しています。

公益財団法人日本生産性本部とは、社会経済システムおよび生産性に関する調査研究、情報の収集および提供、普及を行っている組織です。

#### ■結論

パレット1枚当たり(出荷時間+入荷時間)の労働生産性は出荷時で約2.60倍、入荷時で平均約7.17倍の向上が見込めます。その時間削減率は約75%です。



**時間削減率 75%**

#### ■検討方法

食料品における出荷、入荷の2ケースにて、比較検証を実施いたしました。実際にお客さまにご協力いただき、現場にて作業時間を測定しております。

#### ■JPRの提供する「P研」システムにあてはめると

2017年度、「P研」システムで運用されたパレットの延べ出荷枚数は約3,274万枚です。

この総数にあてはめて効果を試算すると以下のような結果となります。

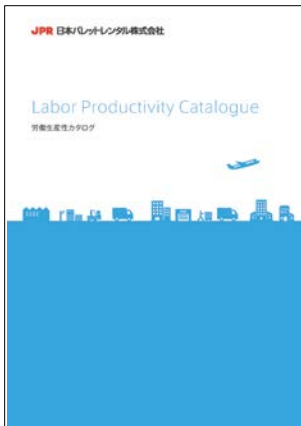
- ・時間削減：約 263 万時間の削減
- ・人件費：約 69 億円の削減（人件費は時給を 2,614 円と想定）
- ・人員当たり：約 1,369 人分（勤務時間は 1 日 8 時間、月 20 日と想定）

※「P研」とは、「JPR11 型レンタルパレット共同利用・回収推進会」の略称です。

「P研システム」は、レンタルパレットの共同利用・共同回収を行うことで、複数の企業間での一貫パレチゼーションを構築するしくみです。

## ■労働生産性評価報告書の発行

JPRレンタルパレットをご利用いただくことが働き方改革につながることを踏まえ、今回算出した結果を「労働生産性評価報告書」にまとめ、お客さまに配布いたします。

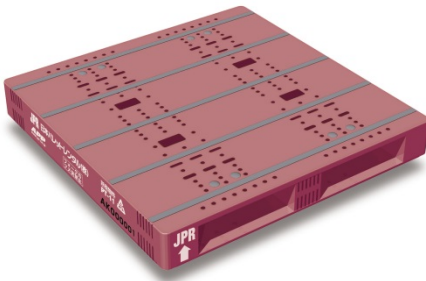


■ ページ数：4ページ（表紙、裏表紙含む）

■ 内容

- ① パレットの労働生産性評価について
- ② 「手荷役方式」と「パレット方式」について
- ③ 検証・評価結果
- ④ JPRの提供する「P研システム」にあてはめると
- ⑤ 1社で、仮に10万枚/年間をご利用いただく場合
- ⑥ 結論ポイント

## ■JPRのレンタルパレットについて



■ サイズ

1100mm×1100mm

■ 保有枚数

約960万枚

■ 年間出荷枚数

約4200万枚（共同利用共同回収以外の運用も含む）

（2018年3月末現在）

■ このニュースに関するお問い合わせ先

日本パレットレンタル株式会社 営業企画部 営業企画グループ

Tel: 03-6895-5215 / Fax: 03-6895-5249 / Mail: [pr@jpr.co.jp](mailto:pr@jpr.co.jp) / URL: <https://www.jpr.co.jp>